

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人目白学園

(2) 大学名

目白大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒161-8539

東京都新宿区中落合4-31-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オザキ ハルキ) 尾崎 春樹 (平成27年1月)		
学長	(サワザキ タツオ) 沢崎 達夫 (平成30年4月)	(タハラ タカヒデ) 太原 孝英 (令和4年4月)	任期満了に伴い、令和4年4月1日、太原孝英前副学長が新学長に就任(4)
学部長	(コイケ マキコ) 小池 眞規子 (令和2年4月)		
学科長等	(コイケ マキコ) 小池 眞規子 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
心理学部 心理カウンセリング学科 学士(心理学)	文学関係	4年	125人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	500人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	125 (-) [-]	() []	125 (-) [-]	() []	125 (-) [-]	() []	125 (-) [-]	() []	1.06倍	-	1.03倍	-	
志願者数	() []	() []	() []	() []	1,616 (-) [23]	() []	1,214 (-) [14]	() []	1,108 (-) [11]	() []	879 (-) [8]	() []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	1,554 (-) [23]	() []	1,167 (-) [14]	() []	1,056 (-) [11]	() []	832 (-) [8]	() []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	384 (-) [-]	() []	413 (-) [2]	() []	513 (-) [2]	() []	411 (-) [3]	() []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	134 (-) [-]	() []	137 (-) [2]	() []	128 (-) [1]	() []	134 (-) [2]	() []					
入学定員超過率 B/A					1.07		1.09		1.02		1.07						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。□
- ・ 「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	134 [0] (-)	[] ()	137 [2] (-)	[] ()	128 [1] (-)	[] ()	134 [2] (-)	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		133 [0] (-)	[] ()	136 [2] (-)	[] ()	123 [1] (-)	[] ()	
3年次			/				/		/		/		130 [0] (-)
4年次	/				/								/
計			[] ()	[] ()			[] ()	[] ()	134 [0] (-)	[] ()	270 [2] (-)	[] ()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	134 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	270 人	1 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	394 人	4 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	3 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(2人)、 他の教育機関への入学(1人)
			令和3年度	1 人	0 人	就職(1名)
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	517 人	15 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	3 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(2人)、 他の教育機関への入学(1人)
			令和3年度	1 人	0 人	就職(1名)
			令和4年度	11 人	0 人	就学意欲の低下(5人)、学生個人の心身に関する事情(2人)、他 の教育機関への転学(2名)、他の進路変更(1人)、死亡(1人)
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		20 人		20 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{134} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{270} = \boxed{0.37} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{394} = \boxed{1.01} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{15}{517} = \boxed{2.9} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理学部 心理カウンセリング学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
セミナー 初年次	フレッシュマンセミナー	1前	1				4	2				
	ベーシックセミナー	1後	1				4	2				
	小計 (2科目)	—										
分野横断科目	大学生活と学問	1前		2		1						兼13
	知の探究法	1後		2								兼5
	「目白大学」を知る	1前		2								兼11
	科学的なものの見方・考え方	1後		2								兼4
	小計 (4科目)	—										
	学際科目	雑穀文化を学ぶ	2後		2							
	感性を磨く芸術論	2後		2								兼3
	知の対象としての恋愛	2後		2		1		1				兼4
	人間と遊び	2後		2								兼6
	社会生活のデザイン	2後		2								兼3
	子供とメディア	2後		2								兼3
	「観光」で読み解く現代社会	2後		2								兼5
	お金とつきあう	2後		2								兼3
	社会の中のことば	2後		2								兼2
	日本語再発見	2後		2								兼6
	コトバの実験室	2後		2								兼2
	小計 (11科目)	—										
異分野入門科目	人文系学生のための情報ネットワーク・データ活用入門	2前		2								兼4
	マスメディア学入門	2前		2								兼8
	江戸から東京へ	2前		2								兼3
	ビジネス偉人伝～先達に学ぶ生きるための智慧	2前		2								兼4
	ことばの「しくみ」と「はたらき」	2前		2								兼3
	東アジアの言語と文化	2前		2								兼2
	古典に学ぶ	2前		2								兼1
	小計 (7科目)	—										
グローバル課題探求科目	グローバルな視点で学ぶ社会と人間	3前		2			1					兼4
	サステイナブル社会を考える	3前		2								兼4
	食と農から考える地域と世界	3後		2								兼2
	世界の今を学ぼう	3後		2								兼1
	小計 (5科目)	—										

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
セミナー 初年次	ベーシックセミナーⅠ	1前	1				3	1	1			
	ベーシックセミナーⅡ	1後	1				3	1	1			
	小計 (2科目)	—										
分野横断科目	大学生活と学問	1前		2			1					兼13
	知の探究法	1前		2								兼4
	「目白大学」を知る	1前		2								兼17
	持続可能な社会を考える	1前		2								兼6
	デジタル化する社会を考える	1前		2								兼13
	科学的なものの見方・考え方	1前		2								兼4
	小計 (6科目)	—										
学際科目	現代の社会福祉	2後		2								兼9
	感性を磨く芸術論	2後		2								兼3
	知の対象としての恋愛	2後		2			1		1			兼3
	人間と遊び	2後		2								兼6
	社会生活のデザイン	2後		2								兼3
	子供とメディア	2後		2								兼3
	「観光」で読み解く現代社会	2後		2								兼4
	お金とつきあう	2後		2								兼3
	社会の中のことば	2後		2								兼2
	日本語再発見	2後		2								兼6
	コトバの実験室	2後		2								兼1
	問題解決・思考法	2後		2								兼1
	未来を拓くイノベーション	2後		2								兼1
小計 (13科目)	—											
異分野入門科目	ボランティア入門	2前		2								兼7
	保育学入門	2前		2								兼1
	現代教育入門	2前		2								兼6
	人文系学生のための情報ネットワーク・データ活用入門	2前		2								兼4
	江戸東京学入門	2前		2								兼3
総合科目	マスメディア学入門	2前		2								兼8
	現代経営入門	2前		2								兼3
	言語学入門	2前		2								兼3

外国語	Practical English Grammar	2前・後	1																兼1
	中国語基礎Ⅰ	1前・後	1																兼4
	中国語基礎Ⅱ	1前・後	1																兼2
	中国語基礎Ⅲ	2前・後	1																兼1
	韓国語基礎Ⅰ	1前・後	1																兼2
	韓国語基礎Ⅱ	1前・後	1																兼2
	韓国語基礎Ⅲ	2前・後	1																兼2
	インドネシア語基礎Ⅰ	1前・後	1																兼1
	インドネシア語基礎Ⅱ	1前・後	1																兼1
	インドネシア語基礎Ⅲ	2前・後	1																兼1
	フランス語基礎Ⅰ	1前・後	1																兼3
	フランス語基礎Ⅱ	1前・後	1																兼2
	フランス語基礎Ⅲ	2前・後	1																兼2
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前・後	1																兼2
	ドイツ語基礎Ⅱ	1前・後	1																兼2
	ドイツ語基礎Ⅲ	2前・後	1																兼2
	スペイン語基礎Ⅰ	1前・後	1																兼1
	スペイン語基礎Ⅱ	1前・後	1																兼1
	スペイン語基礎Ⅲ	2前・後	1																兼1
	応用中国語演習	2後	1																兼1
応用韓国語演習	2後	1																兼1	
応用インドネシア語演習	2後	1																兼1	
応用フランス語演習	2後	1																兼1	
応用ドイツ語演習	2後	1																兼1	
応用スペイン語演習	2後	1																兼1	
小計(38科目)	—																		
情報活用演習	情報活用演習Ⅰ	1前	2																兼4
	情報活用演習Ⅱ	2後	2																兼2
	情報活用基礎演習A	1前・後	2																兼2
	情報活用基礎演習B	1後	2																兼1
	情報活用応用演習	1前・後	2																兼2
	情報活用特別演習	2前	2																兼1
	数と情報	1前・後	2																兼2
小計(7科目)	—																		
スポーツ・健康	生涯スポーツ1	1前・後	1																兼3
	生涯スポーツ2	2前・後	1																兼6
	生涯スポーツ3	3前・後	1																兼2
	健康科学	1前・後	1																兼2
	健康科学演習(心とからだ)	2後	1																兼2
外国語	Film English	2前	1																兼1
	Practical English Grammar	2後	1																兼1
	中国の言語と文化	1前	2																兼2
	中国語基礎Ⅰ	1前・後	1																兼3
	中国語基礎Ⅱ	1前・後	1																兼1
	中国語基礎Ⅲ	2後	1																兼1
	韓国の言語と文化	1前・後	2																兼1
	韓国語基礎Ⅰ	1前・後	1																兼3
	韓国語基礎Ⅱ	1前・後	1																兼2
	韓国語基礎Ⅲ	2後	1																兼1
	東南アジアの言語と文化	1前	2																兼1
	インドネシア語入門	1後	1																兼1
	フランスの言語と文化	1前	2																兼1
	フランス語基礎Ⅰ	1前・後	1																兼2
	フランス語基礎Ⅱ	1後	1																兼1
	フランス語基礎Ⅲ	2前	1																兼1
	ドイツの言語と文化	1前・後	2																兼2
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前・後	1																兼2
	ドイツ語基礎Ⅱ	1前	1																兼1
	ドイツ語基礎Ⅲ	2後	1																兼1
スペインの言語と文化	1前・後	2																兼1	
スペイン語入門	1前・後	1																兼1	
小計(31科目)	—																		
情報活用演習	情報活用演習Ⅰ	1前	2																兼4
	情報活用演習Ⅱ	1後	2																兼4
	情報活用演習Ⅲ	2前・後	2																兼1
	情報活用基礎演習A	1前・後	2																兼1
	情報活用基礎演習B	2前・後	2																兼1
	情報活用応用演習	2前・後	2																兼1
	情報活用特別演習	2前・後	2																兼1
小計(7科目)	—																		
スポーツ・健康	生涯スポーツ1	1前・後	1																兼3
	生涯スポーツ2	2前・後	1																兼8
	生涯スポーツ3	2前・後	1																兼5
	健康科学	1前・後	1																兼2
	健康科学演習(心とからだ)	2後	1																兼1
専門とキャリア	専門とキャリアA	2前	1									1	1	2					
	専門とキャリアB	2後	1									1	1	2					

		小計 (5科目)	—																		
キャリアデザイン		専門とキャリアA	2前	1			1	2	2										兼1		
		専門とキャリアB	2後	1			1	2	2										兼1		
		仕事と社会	3前		1															兼1	
		キャリア研修 I	1前・後							2										兼1	
		キャリア研修 II	2前・後							2										兼1	
		小計 (5科目)	—																		
心理学導入科目		心理学と社会A (家族とこころ)	1後		2		1														
		心理学と社会B (多様性・文化とこころ)	1前		2		1														
		心理学と社会C (消費者とこころ)	1後		2															兼1	
		心理学と社会D (人間関係とこころ)	1後		2															兼1	
		心理学と社会E (子ども相談入門)	1後		2			1							1						
		心理学と社会F (こころの予防教育)	1前		2				1							1					
		小計 (6科目)	—																		
心理学基礎科目		心理学概論	1前		2															兼1	
		臨床心理学概論	1前		2				1												
		心理学統計法	1後		2			2												兼2	
		心理学研究法	2前		2				1												
		心理学実験	2後		4				1		2									兼3	
		小計 (5科目)	—																		
心理学発展科目	基本科目	知覚・認知心理学	1後		2															兼1	
		学習・言語心理学	1後		2															兼1	
		感情・人格心理学	2前		2			1													
		神経・生理心理学	1前		2															兼1	
		社会・集団・家族心理学	1後		2					1											
		発達心理学	1前		2			1													
		障害者・障害児心理学	2後		2				1												
	小計 (7科目)	—																			
	実践科目	健康・医療心理学	2前		2			1													
		福祉心理学	2後		2					1											
教育・学校心理学		2前		2			1														
司法・犯罪心理学		2前		2				1													
産業・組織心理学		2後		2					1												
小計 (5科目)	—																				
関連科目	精神疾患とその治療	2後		2			1														
	人体の構造と機能及び疾病	3前		2			1														
	公認心理師の職責	3前		2					1											兼1	
	関係行政論	3後		2			1	1	3												
小計 (4科目)	—																				
	家族心理学特講A (子どもの心理療法)	2後		2				1													
	家族心理学特講B (芸術療法)	3後		2																兼1	

キャリアデザイン		仕事と社会	3前		1															兼1	
		キャリア研修 I	1前・後			2														兼2	
		キャリア研修 II	2前・後			2														兼2	
		キャリア演習	2前・後			2														兼1	
		小計 (6科目)	—																		
心理学導入科目		心理学と社会A (家族とこころ)	1後		2			1													
		心理学と社会B (多様性・文化とこころ)	1前		2				1												
		心理学と社会C (消費者とこころ)	1前		2															兼1	
		心理学と社会D (人間関係とこころ)	1後		2															兼1	
		心理学と社会E (子ども相談入門)	1後		2			1							1						
		心理学と社会F (こころの予防教育)	1前		2				1							1					
		小計 (6科目)	—																		
心理学基礎科目		心理学概論	1前		2															兼1	
		臨床心理学概論	1前		2				1												
		心理学統計法	1後		2			2				1	1							兼2	
		心理学研究法	2前		2				1							1					
		心理学実験	2後		4				1		2				1		2			兼3	
		小計 (5科目)	—																		
心理学発展科目	基本科目	知覚・認知心理学	1後		2															兼1	
		学習・言語心理学	1後		2															兼1	
		感情・人格心理学	2前		2			1							1						
		神経・生理心理学	1前		2															兼1	
		社会・集団・家族心理学	1後		2					1											
		発達心理学	1前		2			1							1						
		障害者・障害児心理学	2後		2				1						1						
	小計 (7科目)	—																			
	実践科目	健康・医療心理学	2前		2			1													
		福祉心理学	2後		2					1						1					
教育・学校心理学		2前		2			1							1							
司法・犯罪心理学		2前		2				1							1						
産業・組織心理学		2後		2					1						1						
小計 (5科目)	—																				
関連科目	精神疾患とその治療	2前		2										1							
	人体の構造と機能及び疾病	3前		2			1							1							
	公認心理師の職責	3前		2					1											兼1	
	関係行政論	3後		2			1	1	3					2	1	2					
小計 (4科目)	—																				
	家族心理学特講A (子どもの心理療法)	2後		2				1							1						
	家族心理学特講B (芸術療法)	3後		2											2					兼1	

専門教育科目	心理学専修科目	対人関係心理学特講A (パーソナリティと心理学)	2前	2	1																		
		対人関係心理学特講B (ストレスと行動変容)	3前	2		1																	
		多様性心理学特講A (コミュニティ心理学)	2後	2							兼1												
		多様性心理学特講B (異文化・多様性カウンセリング)	3前	2		1																	
		福祉心理学特講A (成人と高齢者の心理学)	2前	2			1																
		福祉心理学特講B (児童養護)	3前	2				1															
		学校心理学特講A (ピア・サポートA)	3前	2		1	1			2													
		学校心理学特講B (ピア・サポートB)	3後	2		1	1			2													
		学校心理学特講C (学校臨床心理学)	2後	2			1																
		医療健康心理学特講A (力動的心理療法)	2前	2							兼1												
		医療健康心理学特講B (認知行動療法)	2後	2				1															
		医療健康心理学特講C (スポーツ心理学)	3前	2							兼1												
		医療健康心理学特講D (身体疾患と心理)	3後	2			1																
		司法犯罪心理学特講A (被害者支援心理学)	2前	2						1													
		司法犯罪心理学特講B (心理学と法)	2後	2				1															
		司法犯罪心理学特講C (加害と被害の臨床心理学)	3後	2						1													
		産業心理学特講A (キャリア心理学)	2前	2						1													
		産業心理学特講B (産業カウンセリング)	3後	2							兼1												
		小計 (20科目)	—																				
		心理学演習	心理学体験実習A (ボランティア)	1前	1		1			1													
心理学体験実習B (異文化体験)	2後		1		1			1															
心理学体験実習C (メンタルサポートボランティア)	3前		1			1		1															
心理学入門演習	1前		2					1		3											兼1		
心理学基礎演習	2前		2				2			2											兼1		
心理学調査法	3後		2				1																
小計 (6科目)	—																						
心理学的目支援	心理的アセスメント	3後	2					1															
	心理学的支援法	3前	2				1																
	心理演習A	4前	2			1		1	1	1											兼1		
	心理演習B	4後	2			1		1	1	1											兼1		
	心理実習	4通	2		3	6		3													兼1		
	小計 (5科目)	—																					
研 修 地	臨地研修 (短期)	2・3前	2					2															
	臨地研修 (長期)	2・3通	4					2															
	小計 (2科目)	—																					
心理学専門セミナーA	3前	1			4	6	4													兼1			
専門教育科目	心理学専修科目	対人関係心理学特講A (パーソナリティと心理学)	2前	2		1																	
		対人関係心理学特講B (ストレスと行動変容)	3前	2				1														1	
		多様性心理学特講A (コミュニティ心理学)	2後	2							兼1												兼1
		多様性心理学特講B (異文化・多様性カウンセリング)	3前	2			1																
		福祉心理学特講A (成人と高齢者の心理学)	2前	2					1														1
		福祉心理学特講B (児童養護)	3前	2						1													1
		学校心理学特講A (ピア・サポートA)	3前	2		1	1			2													2
		学校心理学特講B (ピア・サポートB)	3後	2		1	1			2													2
		学校心理学特講C (学校臨床心理学)	2後	2			1																兼1
		医療健康心理学特講A (力動的心理療法)	2前	2							兼1												兼1
		医療健康心理学特講B (認知行動療法)	2後	2				1															兼1
		医療健康心理学特講C (スポーツ心理学)	3前	2							兼1												兼1
		医療健康心理学特講D (身体疾患と心理)	3後	2			1																兼1
		司法犯罪心理学特講A (被害者支援心理学)	2前	2						1													兼1
		司法犯罪心理学特講B (心理学と法)	2後	2				1															兼1
		司法犯罪心理学特講C (加害と被害の臨床心理学)	3後	2						1													兼1
		産業心理学特講A (キャリア心理学)	2前	2						1													兼1
		産業心理学特講B (産業カウンセリング)	3後	2							兼1												兼1
		小計 (20科目)	—																				
		心理学演習	心理学体験実習A (ボランティア)	1前	1					1													
心理学体験実習B (異文化体験)	2後		1			1																1	
心理学体験実習C (メンタルサポートボランティア)	3通		1					1														1	
心理学入門演習	1前		2					1		3												3	
心理学基礎演習	2前		2				2			2												2	
心理学調査法	3後		2				1															1	
小計 (6科目)	—																						
心理学的目支援	心理的アセスメント	3後	2					1														1	
	心理学的支援法	3前	2				1															1	
	心理演習A	4前	2			1		1	1	1												兼1	
	心理演習B	4後	2			1		1	1	1												兼1	
	心理実習	4通	2		3	6		3														兼1	
小計 (5科目)	—																						
研 修 地	臨地研修 (短期)	2・3前	2					2														1	
	臨地研修 (長期)	2・3通	4					2														1	
	小計 (2科目)	—																					
心理学専門セミナーA	3前	1			4	6	4														5		
心理学専門セミナーA	3前	1																			2		
心理学専門セミナーA	3前	1																			4		

セミナー・卒業研究	心理学専門セミナーB	3後	1		4	6	4			兼1
	心理学特別セミナーA	4前	1		4	6	4			兼1
	心理学特別セミナーB	4後	1		4	6	4			兼1
	卒業研究	4通		4	4	6	4			兼1
	小計(5科目)	-								
合計(169科目)		-								
卒業要件及び履修方法										
卒業要件:124単位 共通科目:28単位以上 専門教育科目:84単位以上(必修科目34単位、選択必修科目10単位、選択科目40単位以上) (内訳)心理学導入科目4単位選択必修 心理学基礎科目12単位必修 心理学発展科目14単位必修 心理学専修科目6単位選択必修 心理学演習実習科目4単位必修 セミナー・卒業研究4単位必修 自由選択科目:12単位										

セミナー・卒業研究	心理学専門セミナーB	3後	1					5	2	4		
	心理学特別セミナーA	4前	1					6	2	3		
	心理学特別セミナーB	4後	1					6	2	3		
	卒業研究	4通		4				6	2	3		
	小計(5科目)	-										
合計(167科目)		-										
卒業要件及び履修方法												
卒業要件:124単位 共通科目:28単位以上 専門教育科目:84単位以上(必修科目34単位、選択必修科目10単位、選択科目40単位以上) (内訳)心理学導入科目4単位選択必修 心理学基礎科目12単位必修 心理学発展科目14単位必修 心理学専修科目6単位選択必修 心理学演習実習科目4単位必修 セミナー・卒業研究4単位必修 自由選択科目:12単位												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
セミナー 初年次	ベーシックセミナーⅠ	1前	1			2	3					
	ベーシックセミナーⅡ	1後	1			2	3					
	小計(2科目)	—										
分野横断科目	大学生活と学問	1前		2		1					兼13	
	知の探究法	1前		2							兼5	
	「目白大学」を知る	1前		2		1					兼18	
	持続可能な社会を考える	1前		2							兼6	
	デジタル化する社会を考える	1前		2							兼5	
	科学的なものの見方・考え方	1前		2							兼4	
	小計(6科目)	—										
	学際科目	雑穀文化を学ぶ	2後		2							兼3
		感性を磨く芸術論	2後		2							兼3
		知の対象としての恋愛	2後		2		1	1				兼3
人間と遊び		2後		2							兼6	
社会生活のデザイン		2後		2							兼3	
子供とメディア		2後		2							兼3	
「観光」で読み解く現代社会		2後		2							兼5	
お金とつきあう		2後		2							兼3	
社会の中のことば		2後		2							兼2	
日本語再発見		2後		2							兼6	
コトバの実験室		2後		2							兼1	
小計(11科目)	—											
総合科目	人文系学生のための情報ネットワーク・データ活用入門	2前		2							兼2	
	マスメディア学入門	2前		2							兼9	
	江戸から東京へ	2前		2							兼3	
	ビジネス偉人伝～先達に学ぶ生きるための智慧	2前		2							兼5	
	ことばの「しくみ」と「はたらき」	2前		2							兼3	
	東アジアの言語と文化	2前		2							兼2	
	古典に学ぶ	2前		2							兼1	
	小計(7科目)	—										
グローバル課題探求科目	グローバルな視点で学ぶ社会と人間	3後		2		1					兼4	
	サステイナブル社会を考える	3前		2							兼6	
	食と農から考える地域と世界	3前		2							兼5	
	世界の今を学ぼう	3後		2							兼5	
	小計(4科目)	—										

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
セミナー 初年次	フレッシュマンセミナー	1前	1			1	5	4				
	ベーシックセミナー	1後	1			1	5	4				
	小計(2科目)	—										
分野横断科目	大学生活と学問	1前		2		1					兼13	
	知の探究法	1前		2							兼5	
	「目白大学」を知る	1前		2							兼11	
	科学的なものの見方・考え方	1前		2							兼4	
	小計(4科目)	—										
	学際科目	雑穀文化を学ぶ	2後		2							兼3
		感性を磨く芸術論	2後		2							兼3
		知の対象としての恋愛	2後		2		1	1				兼3
		人間と遊び	2後		2							兼6
		社会生活のデザイン	2後		2							兼3
子供とメディア		2後		2							兼3	
「観光」で読み解く現代社会		2後		2							兼6	
お金とつきあう		2後		2							兼3	
社会の中のことば		2後		2							兼2	
日本語再発見		2後		2							兼6	
コトバの実験室		2後		2							兼1	
小計(11科目)	—											
異分野入門科目	人文系学生のための情報ネットワーク・データ活用入門	2前		2							兼4	
	マスメディア学入門	2前		2							兼8	
	江戸から東京へ	2前		2							兼3	
	ビジネス偉人伝～先達に学ぶ生きるための智慧	2前		2							兼5	
	ことばの「しくみ」と「はたらき」	2前		2							兼3	
	東アジアの言語と文化	2前		2							兼2	
	古典に学ぶ	2前		2							兼1	
小計(7科目)	—											
グローバル課題探求科目	グローバルな視点で学ぶ社会と人間	3前		2			1				兼4	
	サステイナブル社会を考える	3前		2							兼5	
	食と農から考える地域と世界	3後		2							兼5	
	世界の今を学ぼう	3後		2							兼5	
	小計(4科目)	—										
総合科目	日本国憲法	1前・後		2							兼2	
	遺跡を科学する(考古学)	1前・後		2							兼1	

基礎 教養 科目	日本国憲法	1前・後	2							兼2
	考古学入門	1後	2							兼1
	芸術論入門	1後	2							兼1
	政治学概説	1後	2							兼1
	東洋史概説	1後	2							兼1
	西洋史概説	1前	2							兼1
	日本史概説	1前	2							兼1
	自然地理学概説	1後	2							兼1
	法学入門	1前・後	2							兼1
	社会学入門	1前	2							兼1
	漢文学概説	1前	2							兼1
	現代文学入門	1前	2							兼1
	倫理学入門	1前	2							兼1
小計 (13科目)	—									
国語	国語基礎演習 I	1前	2							兼4
	国語基礎演習 II	1後	2							兼4
	日本語表現演習 I	2前	1							兼4
	日本語表現演習 II	2後	1							兼4
	専門レポート基礎演習	2後	1							兼2
	小計 (5科目)	—								
共通 科目	英語基礎 (Fundamentals of English) I	1前	1							兼4
	英語基礎 (Fundamentals of English) II	1後	1							兼4
	総合英語 (Integrated English) I	1前	1							兼4
	総合英語 (Integrated English) II	2前	1							兼4
	専門基礎英語 (Basic English for Special Fields)	2後	1							兼4
	English Test Strategies	1前・後	1							兼4
	English Using CALL	1前・後	1							兼2
	Advanced Reading	2前	1							兼1
	Business English	2後	1							兼1
	Communication in the Media	2後	1							兼1
	Communicative Listening and Writing	2前	1							兼1
	Dynamics of English Sound	2前	1							兼1
	Film English	2前	1							兼1
	Practical English Grammar	2後	1							兼1
	中国の言語と文化	1後	2							兼1
	中国語基礎 I	1前・後	1							兼3
	中国語基礎 II	1前・後	1							兼1
	中国語基礎 III	2後	1							兼1
	資格 関連 科目	芸術と人間 (芸術論)	1後	2						
政治のしくみ (政治学)		1前・後	2							兼1
アジアの歴史と文化 (東洋史)		1後	2							兼1
西洋の歴史と文化 (西洋史)		1前・後	2							兼1
日本の歴史 (日本史)		1前・後	2							兼1
環境物理学		1後	2							兼1
自然地理学概説		1後	2							兼1
やさしい観光開発 (観光開発論)		1後	2							兼1
社会学		1前	2							兼1
法学		1前・後	2							兼1
社会学概論		1前	2							兼2
漢文学の世界 (漢文学論)		1前	2							兼1
現代文学		1前	2							兼1
倫理	1前	2							兼1	
小計 (16科目)	—									
国語	日本語読解演習 I	1前	1							兼4
	日本語読解演習 II	1後	1							兼4
	日本語表現演習 I	2前	1							兼4
	日本語表現演習 II	2後	1							兼4
	専門レポート基礎演習	2後	1							兼2
	小計 (5科目)	—								
共通 科目	英語基礎 (Fundamentals of English) I	1前	1							兼4
	英語基礎 (Fundamentals of English) II	1後	1							兼4
	総合英語 (Integrated English) I	1前	1							兼4
	総合英語 (Integrated English) II	2前	1							兼4
	専門基礎英語 (Basic English for Special Fields)	2後	1							兼4
	English Test Strategies	1前・後	1							兼4
	English Using CALL	1前・後	1							兼4
	Advanced Reading	2前	1							兼1
	Business English	2後	1							兼1
	Communication in the Media	2後	1							兼1
	Communicative Listening and Writing	2前	1							兼1
	Dynamics of English Sound	2前	1							兼1
	Film English	2前	1							兼1
Practical English Grammar	2後	1							兼1	
中国語基礎 I	1前・後	1							兼4	
中国語基礎 II	1前・後	1							兼2	
中国語基礎 III	2前・後	1							兼1	

キャリアデザイン	仕事と社会	3前	1							兼1	
	キャリア研修Ⅰ	1前・後	2							兼1	
	キャリア研修Ⅱ	2前・後	2							兼1	
	小計(5科目)	—									
心理学導入科目	心理学と社会A(家族とこころ)	1後	2	1						兼1	
	心理学と社会B(多様性・文化とこころ)	1前	2	1						兼1	
	心理学と社会C(消費者とこころ)	1前	2							兼1	
	心理学と社会D(人間関係とこころ)	1後	2							兼1	
	心理学と社会E(子ども相談入門)	1後	2			1				兼1	
	心理学と社会F(こころの予防教育)	1前	2				1			兼1	
	小計(6科目)	—									
心理学基礎科目	心理学概論	1前	2							兼1	
	臨床心理学概論	1前	2			1				兼1	
	心理学統計法	1後	2		1	1				兼2	
	心理学研究法	2前	2				1			兼1	
	心理学実験	2後	4		1			2		兼2	
	小計(5科目)	—									
心理学発展科目	基本科目	知覚・認知心理学	1後	2						兼1	
		学習・言語心理学	1後	2						兼1	
		感情・人格心理学	2前	2			1				兼1
		神経・生理心理学	1前	2							兼1
		社会・集団・家族心理学	1後	2				1			兼1
		発達心理学	1前	2		1					兼1
		障害者・障害児心理学	2後	2		1					兼1
	小計(7科目)	—									
	実践科目	健康・医療心理学	2前	2	1						兼1
		福祉心理学	2後	2			1				兼1
教育・学校心理学		2前	2	1						兼1	
司法・犯罪心理学		2前	2			1				兼1	
産業・組織心理学		2後	2				1			兼1	
小計(5科目)	—										
関連科目	精神疾患とその治療	2前	2	1						兼1	
	人体の構造と機能及び疾病	3前	2	1						兼1	
	公認心理師の職責	3前	2			1				兼1	
	関係行政論	3後	2	1	3	1				兼1	
	小計(4科目)	—									

デザイン	キャリア研修Ⅱ	2前・後	2							兼1	
	小計(5科目)	—									
心理学導入科目	心理学と社会A(家族とこころ)	1後	2	1						兼1	
	心理学と社会B(多様性・文化とこころ)	1前	2	1						兼1	
	心理学と社会C(消費者とこころ)	1前	2							兼1	
	心理学と社会D(人間関係とこころ)	1後	2							兼1	
	心理学と社会E(子ども相談入門)	1後	2				1			兼1	
	心理学と社会F(こころの予防教育)	1前	2					1		兼1	
	小計(6科目)	—									
心理学基礎科目	心理学概論	1前	2							兼1	
	臨床心理学概論	1前	2			1				兼1	
	心理学統計法	1後	2		1	1				兼2	
	心理学研究法	2前	2				1			兼1	
	心理学実験	2後	4		1			2		兼3	
	小計(5科目)	—									
心理学発展科目	基本科目	知覚・認知心理学	1後	2						兼1	
		学習・言語心理学	1後	2						兼1	
		感情・人格心理学	2前	2			1				兼1
		神経・生理心理学	1前	2							兼1
		社会・集団・家族心理学	1後	2				1			兼1
		発達心理学	1前	2		1					兼1
		障害者・障害児心理学	2後	2		1					兼1
	小計(7科目)	—									
	実践科目	健康・医療心理学	2前	2	1						兼1
		福祉心理学	2後	2			1				兼1
教育・学校心理学		2前	2	1						兼1	
司法・犯罪心理学		2前	2			1				兼1	
産業・組織心理学		2後	2				1			兼1	
小計(5科目)	—										
関連科目	精神疾患とその治療	2前	2	1						兼1	
	人体の構造と機能及び疾病	3前	2	1						兼1	
	公認心理師の職責	3前	2			1				兼1	
	関係行政論	3後	2	1	2	2				兼1	
	小計(4科目)	—									

専門教育科目	心理学専修科目	家族心理学特講A (子どもの心理療法)	2後	2				1																	
		家族心理学特講B (芸術療法)	3後	2																	兼1				
		対人関係心理学特講A (パーソナリティと心理学)	2前	2			1																		
		対人関係心理学特講B (ストレスと行動変容)	3前	2					1																
		多様性心理学特講A (コミュニティ心理学)	2後	2																		兼1			
		多様性心理学特講B (異文化・多様性カウンセリング)	3前	2			1																		
		福祉心理学特講A (成人と高齢者の心理学)	2前	2					1																
		福祉心理学特講B (児童養護)	3前	2																			1		
		学校心理学特講A (ピア・サポートA)	3前	2			1	1															2		
		学校心理学特講B (ピア・サポートB)	3後	2			1	1															2		
		学校心理学特講C (学校臨床心理学)	2前	2				1																	
		医療健康心理学特講A (力動的心理療法)	2前	2																			兼1		
		医療健康心理学特講B (認知行動療法)	2後	2					1																
		医療健康心理学特講C (スポーツ心理学)	3前	2																			兼1		
		医療健康心理学特講D (身体疾患と心理)	3後	2			1																		
		司法犯罪心理学特講A (被害者支援心理学)	2前	2																			1		
		司法犯罪心理学特講B (心理学と法)	2後	2																			1		
		司法犯罪心理学特講C (加害と被害の臨床心理学)	3後	2																			1		
		産業心理学特講A (キャリア心理学)	2前	2																			1	兼1	
		産業心理学特講B (産業カウンセリング)	3後	2																				兼1	
小計 (20科目)	—																								
心理学実習科目	心理学実習	心理学体験実習A (ボランティア)	1前	1				1																	
		心理学体験実習B (異文化体験)	2後	1			1																1		
		心理学体験実習C (メンタルサポートボランティア)	3通	1				1															1		
		心理学入門演習	1前	2																			3		
		心理学基礎演習	2前	2																			2		
		心理学調査法	3後	2																			1		
		小計 (6科目)	—																						
心理学的実習科目	心理学的実習	心理的アセスメント	3後	2																		1			
		心理学的支援法	3前	2																		1			
		心理演習A	4前	2																		2			
		心理演習B	4後	2																		2			
		心理実習	4通	2																		5	兼1		
		小計 (5科目)	—																						
研 修 地	研 修 地	臨地研修 (短期)	2・3前	2																		2			
		臨地研修 (長期)	2・3通	4																		2			
		小計 (2科目)	—																						
心理学専門セミナーA	3前	1																			6	兼1			
専門教育科目	心理学専修科目	家族心理学特講A (子どもの心理療法)	2後	2																					
		家族心理学特講B (芸術療法)	3後	2																			兼1		
		対人関係心理学特講A (パーソナリティと心理学)	2前	2				1																	
		対人関係心理学特講B (ストレスと行動変容)	3前	2																			1		
		多様性心理学特講A (コミュニティ心理学)	2後	2																			兼1		
		多様性心理学特講B (異文化・多様性カウンセリング)	3前	2																			1		
		福祉心理学特講A (成人と高齢者の心理学)	2前	2																			1		
		福祉心理学特講B (児童養護)	3前	2																			2	兼1	
		学校心理学特講A (ピア・サポートA)	3前	2																			1	1	
		学校心理学特講B (ピア・サポートB)	3後	2																			1	1	
		学校心理学特講C (学校臨床心理学)	2後	2																				1	
		医療健康心理学特講A (力動的心理療法)	2前	2																				兼1	
		医療健康心理学特講B (認知行動療法)	2後	2																				1	
		医療健康心理学特講C (スポーツ心理学)	3前	2																				兼1	
		医療健康心理学特講D (身体疾患と心理)	3後	2																				1	
		司法犯罪心理学特講A (被害者支援心理学)	2前	2																				1	
		司法犯罪心理学特講B (心理学と法)	2後	2																				1	
		司法犯罪心理学特講C (加害と被害の臨床心理学)	3後	2																				1	
		産業心理学特講A (キャリア心理学)	2前	2																				1	兼1
		産業心理学特講B (産業カウンセリング)	3後	2																				兼1	
小計 (20科目)	—																								
心理学実習科目	心理学実習	心理学体験実習A (ボランティア)	1前	1																			1		
		心理学体験実習B (異文化体験)	2後	1																			1		
		心理学体験実習C (メンタルサポートボランティア)	3前	1																			1		
		心理学入門演習	1前	2																			3		
		心理学基礎演習	2前	2																			2		
		心理学調査法	3後	2																			1		
		小計 (6科目)	—																						
心理学的実習科目	心理学的実習	心理的アセスメント	3後	2																			1		
		心理学的支援法	3前	2																			1		
		心理演習A	4前	2																			1		
		心理演習B	4後	2																			1		
		心理実習	4通	2																			4	兼1	
		小計 (5科目)	—																						
研 修 地	研 修 地	臨地研修 (短期)	2・3前	2																			1		
		臨地研修 (長期)	2・3通	4																			1		
		小計 (2科目)	—																						
心理学専門セミナーA	3前	1																				5	兼1		

セミナー・卒業研究	心理学専門セミナーB	3後	1			6	5	3			兼1
	心理学特別セミナーA	4前	1			6	5	3			兼1
	心理学特別セミナーB	4後	1			6	5	3			兼1
	卒業研究	4通		4		6	5	3			兼1
	小計 (5科目)	—									
合計 (171科目)		—									
卒業要件及び履修方法											
卒業要件:124単位 共通科目:28単位以上 専門教育科目:84単位以上(必修科目34単位、選択必修科目10単位、 選択科目40単位以上) (内訳)心理学導入科目4単位選択必修 心理学基礎科目12単位必修 心理学発展科目14単位必修 心理学専修科目6単位選択必修 心理学演習実習科目4単位必修 セミナー・卒業研究4単位必修 自由選択科目:12単位											

セミナー・卒業研究	心理学専門セミナーB	3後	1			5	5	4			兼1
	心理学特別セミナーA	4前	1			5	5	4			兼1
	心理学特別セミナーB	4後	1			5	5	4			兼1
	卒業研究	4通		4		5	5	4			兼1
	小計 (5科目)	—									
合計 (169科目)		—									
卒業要件及び履修方法											
卒業要件:124単位 共通科目:28単位以上 専門教育科目:84単位以上(必修科目34単位、選択必修科目10単位、 選択科目40単位以上) (内訳)心理学導入科目4単位選択必修 心理学基礎科目12単位必修 心理学発展科目14単位必修 心理学専修科目6単位選択必修 心理学演習実習科目4単位必修 セミナー・卒業研究4単位必修 自由選択科目:12単位											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	記年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次 セミナー	フレッシュマンセミナー	1前	1			1	2	3				
	ベーシックセミナー	1後	1			1	2	3				
	小計 (2科目)	—										
分野横断科目	大学生活と学問	1前		2		1						兼13
	知の探究法	1後		2								兼5
	「目白大学」を知る	1前		2								兼11
	科学的なものの見方・考え 方	1後		2								兼4
	小計 (4科目)	—										
学際科目	雑穀文化を学ぶ	2後		2								兼3
	感性を磨く芸術論	2後		2								兼3
	知の対象としての恋愛	2後		2		1		1				兼3
	人間と遊び	2後		2								兼6
	社会生活のデザイン	2後		2								兼3
	子供とメディア	2後		2								兼3
	「観光」で読み解く現代社会	2後		2								兼6
	お金とつきあう	2後		2								兼3
	社会の中のことば	2後		2								兼2
	日本語再発見	2後		2								兼6
	コトバの実験室	2後		2								兼2
小計 (11科目)	—											
異分野入門科目	人文系学生のための情報 ネットワーク・データ活用 入門	2前		2								兼4
	マスメディア学入門	2前		2								兼8
	江戸から東京へ	2前		2								兼3
	ビジネス偉人伝～先達に学 ぶ生きるための智慧	2前		2								兼4
	ことばの「しくみ」と「は たらき」	2前		2								兼3
	東アジアの言語と文化	2前		2								兼2
	古典に学ぶ	2前		2								兼1
小計 (7科目)	—											
グローバル課題探求科目	グローバルな視点で学ぶ社会と人間	3前		2			1					兼4
	サステイナブル社会を考える	3前		2								兼5
	食と農から考える地域と世界	3後		2								兼3
	世界の今を学ぼう	3後		2								兼1
小計 (4科目)	—											
総合科目	日本国憲法	1前・ 1後		2								兼1
	遺跡を科学する (考古学)	1後		2								兼1

資格関連科目	芸術と人間（芸術論）	1後	2															兼1	
	政治のしくみ（政治学）	1前・後	2																兼1
	アジアの歴史と文化（東洋史）	1後	2																兼1
	西洋の歴史と文化（西洋史）	1前・後	2																兼1
	日本の歴史（日本史）	1前・後	2																兼1
	環境物理学	1後	2																兼1
	自然地理学概説	1後	2																兼1
	やさしい観光開発（観光開発論）	1後	2																兼1
	社会学	1前	2																兼1
	法学	1前・後	2																兼1
	社会学概論	1前	2																兼2
	漢文学の世界（漢文学論）	1前	2																兼1
	現代文学	1前	2																兼1
	倫理	1前	2																兼1
	小計（16科目）	—																	
	国語	日本語読解演習Ⅰ	1前	1															
日本語読解演習Ⅱ		1後	1																兼4
日本語表現演習Ⅰ		2前	1																兼4
日本語表現演習Ⅱ		2後	1																兼4
専門レポート基礎演習		2後	1																兼2
小計（5科目）		—																	
共通科目	英語基礎(Fundamentals of English)Ⅰ	1前	1																兼4
	英語基礎(Fundamentals of English)Ⅱ	1後	1																兼4
	総合英語(Integrated English)Ⅰ	1前	1																兼4
	総合英語(Integrated English)Ⅱ	2前	1																兼4
	専門基礎英語(Basic English for Special Fields)	2後	1																兼4
	English Test Strategies	1前・後	1																兼5
	English Using CALL	1前・後	1																兼2
	Advanced Reading	2前	1																兼1
	Business English	2前・後	1																兼1
	Communication in the Media	2前・後	1																兼1
	Communicative Listening and Writing	2前・後	1																兼1
	Dynamics of English Sound	2前・後	1																兼1
	Film English	2前・後	1																兼2
	Practical English Grammar	2前・後	1																兼1
	中国語基礎Ⅰ	1前・後	1																兼4
中国語基礎Ⅱ	1前・後	1																兼2	
中国語基礎Ⅲ	2前・後	1																兼1	

外国語	韓国語基礎Ⅰ	1前・後	1									兼2	
	韓国語基礎Ⅱ	1前・後	1									兼2	
	韓国語基礎Ⅲ	2前・後	1									兼2	
	インドネシア語基礎Ⅰ	1前・後	1									兼1	
	インドネシア語基礎Ⅱ	1前・後	1									兼1	
	インドネシア語基礎Ⅲ	2前・後	1									兼1	
	フランス語基礎Ⅰ	1前・後	1									兼3	
	フランス語基礎Ⅱ	1前・後	1									兼2	
	フランス語基礎Ⅲ	2前・後	1									兼2	
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前・後	1									兼2	
	ドイツ語基礎Ⅱ	1前・後	1									兼2	
	ドイツ語基礎Ⅲ	2前・後	1									兼2	
	スペイン語基礎Ⅰ	1前・後	1									兼1	
	スペイン語基礎Ⅱ	1前・後	1									兼1	
	スペイン語基礎Ⅲ	2前・後	1									兼1	
	応用中国語演習	2前	1										兼1
	応用韓国語演習	2後	1										兼1
	応用インドネシア語演習	2後	1										兼1
	応用フランス語演習	2後	1										兼1
	応用ドイツ語演習	2後	1										兼1
応用スペイン語演習	2後	1										兼1	
小計(38科目)	—												
情報活用演習	情報活用演習Ⅰ	1前	2									兼2	
	情報活用演習Ⅱ	2後	2									兼3	
	情報活用基礎演習A	1前・後	2									兼2	
	情報活用基礎演習B	1後	2									兼1	
	情報活用応用演習	1前・後	2									兼2	
	情報活用特別演習	2前	2									兼1	
	数と情報	1前・後	2									兼2	
小計(7科目)	—												
スポーツ・健康	生涯スポーツ1	1前・後	1									兼3	
	生涯スポーツ2	2前・後	1									兼6	
	生涯スポーツ3	3前・後	1									兼2	
	健康科学	1前・後	1									兼2	
	健康科学演習(心とからだ)	2後	1									兼2	
小計(5科目)	—												
キャリアデザイン	専門とキャリアA	2前	1		1	2	2					兼1	
	専門とキャリアB	2後	1		1	2	2					兼1	
	仕事と社会	3前	1									兼1	
	キャリア研修Ⅰ	1前・後	2									兼1	

	キャリア研修Ⅱ	2前・後	2															兼1	
	小計(5科目)	—																	
心理学導入科目	心理学と社会A(家族とこころ)	1後	2		1														
	心理学と社会B(多様性・文化とこころ)	1前	2		1														
	心理学と社会C(消費者とこころ)	1前	2															兼1	
	心理学と社会D(人間関係とこころ)	1後	2															兼1	
	心理学と社会E(子ども相談入門)	1後	2						1										
	心理学と社会F(こころの予防教育)	1前	2								1								
	小計(6科目)	—																	
心理学基礎科目	心理学概論	1前	2															兼1	
	臨床心理学概論	1前	2							1									
	心理学統計法	1後	2			1	1											兼2	
	心理学研究法	2前	2							1									
	心理学実験	2後	4					1			2							兼1	
	小計(5科目)	—																	
心理学発展科目	基本科目	知覚・認知心理学	1後	2															兼1
		学習・言語心理学	1後	2															兼1
		感情・人格心理学	2前	2					1										
		神経・生理心理学	1前	2															兼1
		社会・集団・家族心理学	1後	2								1							
		発達心理学	1前	2					1										
		障害者・障害児心理学	2後	2					1										
	小計(7科目)	—																	
	実践科目	健康・医療心理学	2前	2			1												
		福祉心理学	2後	2								1							
教育・学校心理学		2前	2			1													
司法・犯罪心理学		2前	2						1										
産業・組織心理学		2後	2								1								
小計(5科目)		—																	
関連科目	精神疾患とその治療	2後	2			1													
	人体の構造と機能及び疾病	3前	2			1													
	公認心理師の職責	3前	2								1								
	関係行政論	3後	2			1	1				3								
	小計(4科目)	—																	
	家族心理学特講A(子どもの心理療法)	2後	2								1								
	家族心理学特講B(芸術療法)	3後	2															兼1	

専門教育科目	心理学専修科目	対人関係心理学特講A (パーソナリティと心理学)	2前	2	1																	
		対人関係心理学特講B (ストレスと行動変容)	3前	2	1																	
		多様性心理学特講A (コミュニティ心理学)	2後	2																		兼1
		多様性心理学特講B (異文化・多様性カウンセリング)	3前	2	1																	
		福祉心理学特講A (成人と高齢者の心理学)	2前	2		1																
		福祉心理学特講B (児童養護)	3前	2			1															
		学校心理学特講A (ピア・サポートA)	3前	2	1	1				2												
		学校心理学特講B (ピア・サポートB)	3後	2	1	1				2												
		学校心理学特講C (学校臨床心理学)	2後	2		1																
		医療健康心理学特講A (力動的心理療法)	2前	2																		兼1
		医療健康心理学特講B (認知行動療法)	2後	2		1																
		医療健康心理学特講C (スポーツ心理学)	3前	2																		兼1
		医療健康心理学特講D (身体疾患と心理)	3後	2	1																	
		司法犯罪心理学特講A (被害者支援心理学)	2前	2						1												
		司法犯罪心理学特講B (心理学と法)	2後	2			1															
		司法犯罪心理学特講C (加害と被害の臨床心理学)	3後	2						1												
		産業心理学特講A (キャリア心理学)	2前	2						1												
		産業心理学特講B (産業カウンセリング)	3後	2																		兼1
		小計 (20科目)	—																			
		実習科目	心理学演習	心理学体験実習A (ボランティア)	1前	1		1		1												
心理学体験実習B (異文化体験)	2後			1	1				1													
心理学体験実習C (メンタルサポートボランティア)	3前			1			1			1												
心理学入門演習	1前			2					1	3												兼1
心理学基礎演習	2前			2			1	1		2												兼1
心理学調査法	3後			2			1															
小計 (6科目)	—																					
心実習学的科目支援	心理的アセスメント	3後	2					1														
	心理学的支援法	3前	2					1														
	心理演習A	4前	2			1	1	1														
	心理演習B	4後	2			1	1	1														
	心理実習	4通	2			4	4	4													兼1	
	小計 (5科目)	—																				
研臨修地	臨地研修 (短期)	2・3前	2					2														
	臨地研修 (長期)	2・3通	4					2														
	小計 (5科目)	—																				
卒業セミナー	心理学専門セミナーA	3前	1			5	4	5													兼1	
	心理学専門セミナーB	3後	1			5	4	5													兼1	
	心理学特別セミナーA	4前	1			5	4	5													兼1	

研究	心理学特別セミナーB	4後	1			5	4	5								兼1
	卒業研究	4通		4		5	4	5								兼1
	小計（5科目）	—														
合計（169科目）		—														
卒業要件及び履修方法																
卒業要件:124単位 共通科目:28単位以上 専門教育科目:84単位以上(必修科目34単位、選択必修科目10単位、 選択科目40単位以上) (内訳)心理学導入科目4単位選択必修 心理学基礎科目12単位必修 心理学発展科目14単位必修 心理学専修科目6単位選択必修 心理学演習実習科目4単位必修 セミナー・卒業研究4単位必修 自由選択科目:12単位																

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「フレッシュマンセミナー」の専任教員等の配置を「准教授4、講師2」から「教授1、准教授2、講師3」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「ベーシックセミナー」の専任教員等の配置を「准教授4、講師2」から「教授1、准教授2、講師3」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「雑穀文化を学ぶ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・科目担当者の退職のために、「知の対象としての恋愛」の専任教員等の配置における兼任・兼任数を4から3に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「「観光」で読み解く現代社会」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「サステイナブル社会を考える」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「食と農から考える地域と社会」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「政治のしくみ(政治学)」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「西洋の歴史と文化(西洋史)」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- ・科目担当者の退職のために、「日本の歴史(日本史)」の専任教員等の配置における兼任・兼任数を2から1に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「社会学概論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「専門基礎英語(Basic English for Special Fields)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「応用中国語演習」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「情報活用演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「情報活用演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・担当教員の昇格及び採用により、「心理学と社会E(子ども相談入門)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理学統計法」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「障害者・障害児心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「家族心理学特講A(子どもの心理療法)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「対人関係心理学特講B(ストレスと行動変容)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理学基礎演習」の専任教員等の配置を「准教授2、助教2、兼任・兼任1」から「准教授1、講師1、助教2、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理学的支援法」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「心理実習」の専任教員等の配置を「教授3、准教授6、講師3、兼任・兼任1」から「教授4、准教授4、講師4、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「心理学専門セミナーA」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「心理学専門セミナーB」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「心理学特別セミナーA」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「心理学特別セミナーB」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」に変更。

【令和3年度】

- ・教育課程の充実を図るために、「フレッシュマンセミナー」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師3」から「教授1、准教授5、講師4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「ベーシックセミナー」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師3」から「教授1、准教授5、講師4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「知の探究法」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「科学的なものの見方・考え方」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「知の対象としての恋愛」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、兼任・兼任3」から「教授1、准教授1、兼任・兼任3」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「コトバの実験室」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「ビジネス偉人伝～先達に学ぶ生きるための智慧」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「食と農から考える地域と世界」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「世界の今を学ぼう」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「English Test Strategies」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「情報活用演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「情報活用演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「情報活用応用演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「情報活用応用演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「生涯スポーツ1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「生涯スポーツ3」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「健康科学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「専門とキャリアA」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師2、兼任・兼任1」から「教授1、准教授5、講師4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「専門とキャリアB」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師2、兼任・兼任1」から「教授1、准教授5、講師4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「心理学実験」の専任教員等の配置を「准教授1、助教2、兼任・兼任1」から「准教授1、助教2、兼任・兼任3」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「福祉心理学」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「精神疾患とその治療」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「関係行政論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師3」から「教授1、准教授2、講師2」に変更。
- ・担当教員の退職により、「学校心理学特講A(ピア・サポートA)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教2」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「学校心理学特講B(ピア・サポートB)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教2」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。

- ・教育課程の充実を図るために、「産業心理学特講A（キャリア心理学）」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「心理学体験実習C（メンタルサポートボランティア）」の専任教員等の配置を「准教授1、助教1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇格及び担当者変更により、「心理学入門演習」の専任教員等の配置を「講師1、助教3、兼任・兼任1」から「准教授1、助教3」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「心理学基礎演習」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1、助教2、兼任・兼任1」から「准教授1、講師1、助教2」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理実習」の専任教員等の配置を「教授4、准教授4、講師4、兼任・兼任1」から「教授4、准教授5、講師3、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「臨地研修（短期）」の専任教員等の配置を「講師2」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「臨地研修（長期）」の専任教員等の配置を「講師2」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理学専門セミナーA」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理学専門セミナーB」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理学特別セミナーA」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理学特別セミナーB」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」に変更。

【令和4年度】

- ・カリキュラム改正により、「フレッシュマンセミナー」の授業科目名を「ベーシックセミナーⅠ」に変更、専任教員等の配置を「教授1、准教授5、講師4」から「准教授2、講師3」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「ベーシックセミナー」の授業科目名を「ベーシックセミナーⅡ」に変更、専任教員等の配置を「教授1、准教授5、講師4」から「准教授2、講師3」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「目白大学を知る」の専任教員等の配置を「兼任・兼任11」から「准教授1、兼任・兼任18」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「持続可能な社会を考える」を追加。
- ・カリキュラム改正により、「デジタル化する社会を考える」を追加。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「「観光」で読み解く現代社会」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「人文系学生のための情報ネットワーク・データ活用入門」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「マスメディア学入門」の専任教員等の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・時間割調整のため、「グローバルな視点で学ぶ社会と人間」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「サステイナブル社会を考える」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・時間割調整のため、「食と農から考える地域と世界」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「遺跡を科学する（考古学）」の授業科目名を「考古学入門」に変更、配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「芸術と人間（芸術論）」の授業科目名を「芸術論入門」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「政治のしくみ（政治学）」の授業科目名を「政治学概説」に変更、配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「アジアの歴史と文化（東洋史）」の授業科目名を「東洋史概説」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「西洋の歴史と文化（西洋史）」の授業科目名を「西洋史概説」に変更、配当年次を「1前・後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「日本の歴史（日本史）」の授業科目名を「日本史概説」に変更、配当年次を「1前・後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「環境物理学」を削除。
- ・カリキュラム改正により、「やさしい観光開発（観光開発論）」を削除。
- ・カリキュラム改正により、「社会学」を削除。
- ・カリキュラム改正により、「法学」の授業科目名を「法学入門」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「社会学概論」の授業科目名を「社会学入門」に変更、専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「漢文学の世界（漢文学論）」の授業科目名を「漢文学概説」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「現代文学」の授業科目名を「現代文学入門」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「倫理」の授業科目名を「倫理学入門」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「日本語読解演習Ⅰ」を削除。
- ・カリキュラム改正により、「日本語読解演習Ⅱ」を削除。
- ・カリキュラム改正により、「国語基礎演習Ⅰ」を追加。
- ・カリキュラム改正により、「国語基礎演習Ⅱ」を追加。
- ・時間割調整のため、「Business English」の配当年次を「2前・後」から「2後」に変更。
- ・時間割調整のため、「Communication in the Media」の配当年次を「2前・後」から「2後」に変更。
- ・時間割調整のため、「Communicative Listening and Writing」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更。
- ・時間割調整のため、「Dynamics of English Sound」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更。
- ・時間割調整のため、「Film English」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更。
- ・時間割調整のため、「Practical English Grammar」の配当年次を「2前・後」から「2後」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「中国の言語と文化」を追加。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「中国語基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「中国語基礎Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割調整のため、「中国語基礎Ⅲ」の配当年次を「2前・後」から「2後」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「韓国の言語と文化」を追加。
- ・教育課程の充実を図るために、「韓国語基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「韓国語基礎Ⅲ」の配当年次を「2前・後」から「2後」に変更、専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「東南アジアの言語と文化」を追加。
- ・カリキュラム改正により、「インドネシア語基礎Ⅰ」の授業科目名を「インドネシア語入門」に変更、配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「インドネシア語基礎Ⅱ」を削除。
- ・カリキュラム改正により、「フランスの言語と文化」を追加。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「フランス語基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・時間割調整のため、「フランス語基礎Ⅱ」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更、専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割調整のため、「フランス語基礎Ⅲ」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更、専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「ドイツの言語と文化」を追加。
- ・時間割調整のため、「ドイツ語基礎Ⅱ」の配当年次を「1前・後」から「1前」に変更、専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。

- ・時間割調整のため、「ドイツ語基礎Ⅲ」の配当年次を「2前・後」から「2後」に変更、専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「スペインの言語と文化」を追加。
- ・カリキュラム改正により、「スペイン語基礎Ⅰ」の授業科目名を「スペイン語入門」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「スペイン語基礎Ⅱ」を削除。
- ・時間割調整のため、「応用中国語演習」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「情報活用演習Ⅱ」の配当年次を「2後」から「1後・2後」に変更。
- ・時間割調整のため、「情報活用基礎演習A」の配当年次を「1前・後」から「1前」に変更、専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「情報活用基礎演習B」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「情報活用応用演習」の配当年次を「1前・後」から「2前」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「数と情報」を削除。
- ・教育課程の充実を図るために、「生涯スポーツ1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「生涯スポーツ2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・担当教員の昇格、時間割調整による担当者変更のため、「専門とキャリアA」の専任教員等の配置を「教授1、准教授5、講師4」から「教授2、准教授3」に変更。
- ・担当教員の昇格、時間割調整による担当者変更のため、「専門とキャリアB」の専任教員等の配置を「教授1、准教授5、講師4」から「教授2、准教授3」に変更。
- ・担当教員の昇格、時間割調整による担当者変更のため、「心理学実験」の専任教員等の配置を「准教授1、助教2、兼任・兼任3」から「教授1、助教2、兼任・兼任2」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「公認心理師の職責」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「関係行政論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師2」から「教授1、准教授3、講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「福祉心理学特講A（成人と高齢者の心理学）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「学校心理学特講A（ピア・サポートA）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「教授1、准教授1、助教2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「学校心理学特講B（ピア・サポートB）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「教授1、准教授1、助教2」に変更。
- ・時間割調整のため、「学校心理学特講C（学校臨床心理学）」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「司法犯罪心理学特講A（被害者支援心理学）」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「司法犯罪心理学特講C（加害と被害の臨床心理学）」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇格および退職のため、「心理学体験実習A（ボランティア）」の専任教員等の配置を「准教授1、助教1」から「教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「心理学体験実習C（メンタルサポートボランティア）」の配当年次を「3前」から「3通」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の昇格および退職のため、「心理演習A」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1、助教1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇格および退職のため、「心理演習B」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1、助教1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「心理実習」の専任教員等の配置を「教授4、准教授4、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師2、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「隣地研修（短期）」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「隣地研修（長期）」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「心理学専門セミナーA」の専任教員等の配置を「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」から「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「心理学専門セミナーB」の専任教員等の配置を「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」から「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「心理学特別セミナーA」の専任教員等の配置を「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」から「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「心理学特別セミナーB」の専任教員等の配置を「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」から「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」から「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」に変更。

【令和5年度】

- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「ベーシックセミナーⅠ」の専任教員等の配置を「准教授2、講師3」から「教授3、准教授1、講師2」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「ベーシックセミナーⅡ」の専任教員等の配置を「准教授2、講師3」から「教授3、准教授1、講師2」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「知の探究法」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「目白大学を知る」の専任教員等の配置を「准教授1、兼任・兼任18」から「兼任・兼任17」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「デジタル化する社会を考える」の教員配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任13」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「雑穀文化を学ぶ」を削除、「現代の社会福祉」を追加。
- ・担当教員の退職及び採用により、「知の対象としての恋愛」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、兼任・兼任3」から「教授1、講師1、兼任・兼任3」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「「観光」で読み解く現代社会」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「問題解決・思考法」を追加。
- ・カリキュラム改正により、「未来を拓くイノベーション」を追加。
- ・カリキュラム改正により、「ボランティア入門」を追加。
- ・カリキュラム改正により、「保育学入門」を追加。
- ・カリキュラム改正により、「現代教育入門」を追加。
- ・教育課程の充実を図るために、「人文系学生のための情報ネットワーク・データ活用入門」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「江戸から東京へ」の授業科目名を「江戸東京学入門」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「マスメディア学入門」の専任教員等の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「ビジネス偉人伝～先達に学ぶ生きるための智慧」の授業科目名を「現代経営入門」に変更。専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「ことばの「しくみ」と「はたらき」」の授業科目名を「言語学入門」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「東アジアの言語と文化」を削除。
- ・カリキュラム改正により、「コーポレート・ガバナンス」を追加。
- ・カリキュラム改正により、「グローバルな視点で学ぶ社会と人間」の配当年次を「3後」から「2後」に変更、専任教員等の配置を「准教授1、兼任・兼任4」から「准教授1、兼任・兼任3」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「サステナブル社会を考える」「食と農から考える地域と世界」を削除、「自然科学的な視点から地球環境問題を考える」「日本と世界の経済事情」を追加。
- ・カリキュラム改正及び担当教員の退職により、「世界の今を学ぼう」の配当年次を「3後」から「2後」に、専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・時間割調整のため、「考古学入門」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・時間割調整のため、「社会学入門」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「国語基礎演習Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「国語基礎演習Ⅱ」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「日本語表現演習Ⅰ」「日本語表現演習Ⅱ」を削除、「国語応用演習（読解）」「国語応用演習（表現）」を追加。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「English Test Strategies」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「Advanced Reading」「Communication in the Media」「Dynamics of English Sound」を削除。
- ・時間割調整及び教育課程の充実を図るために、「中国の言語と文化」の配当年次を「1後」から「1前」に、専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「インドネシア語基礎Ⅲ」を削除。

- ・時間割調整による担当者変更のため、「フランスの言語と文化」の配当年次を「1前・後」から「1前」に変更、専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「スペインの言語と文化」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「スペイン語基礎Ⅲ」「応用中国語演習」「応用韓国語演習」「応用インドネシア語演習」「応用ドイツ語演習」「応用スペイン語演習」を削除。
- ・カリキュラム改正により、「情報活用演習Ⅱ」の配当年次を「1後・2後」から「1後」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「情報活用基礎演習A」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「情報活用基礎演習B」の配当年次を「2前」から「2前・後」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「情報活用応用演習」の配当年次を「2前」から「2前・後」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「情報活用特別演習」の配当年次を「2前」から「2前・後」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「生涯スポーツ1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「生涯スポーツ2」の教員配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・カリキュラム変更及び教育課程の充実を図るために、「生涯スポーツ3」の配当年次を「3前・後」から「2前・後」に変更、専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「健康科学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「健康科学演習(心とからだ)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「専門とキャリアA」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3」から「教授1、准教授1、講師3」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「専門とキャリアB」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3」から「教授1、准教授1、講師3」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「キャリア研修Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「キャリア研修Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「キャリア演習」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「心理学実験」の専任教員等の配置を「教授1、助教2、兼任・兼任2」から「教授1、助教2、兼任・兼任3」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「福祉心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。

- ・担当教員の退職及び採用により、「公認心理師の職責」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「関係行政論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授3、講師1」から「教授2、准教授1、講師2」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「福祉心理学特講B(児童養護)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「学校心理学特講A(ピア・サポートA)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教2」から「教授1、助教2、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「学校心理学特講B(ピア・サポートB)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教2」から「教授1、助教2、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「学校心理学特講C(学校臨床心理学)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「司法犯罪心理学特講B(被害者支援心理学)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「司法犯罪心理学特講C(加害と被害の臨床心理学)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の採用により、「心理学体験実習A(ボランティア)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「心理学体験実習B(メンタルサポートボランティア)」の専任教員等の配置を「准教授1、助教1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「心理学入門演習」の専任教員等の配置を「准教授1、助教3」から「講師1、助教3」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理演習A」の専任教員等の配置を「准教授1・講師1」から「准教授1、助教1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理演習B」の専任教員等の配置を「准教授1・講師1」から「准教授1、助教1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用、時間割調整による担当者変更により、「心理実習」の専任教員等の配置を「教授5、准教授5、講師2、兼任・兼任1」から「教授4、准教授1、講師3、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職、時間割調整による担当者変更により、「隣地研修(短期)」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職、時間割調整による担当者変更により、「隣地研修(長期)」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理学専門セミナーA」の専任教員等の配置を「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」から「教授5、准教授2、講師4」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理学専門セミナーB」の専任教員等の配置を「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」から「教授5、准教授2、講師4」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理学特別セミナーA」の専任教員等の配置を「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」から「教授6、准教授2、講師3」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理学特別セミナーB」の専任教員等の配置を「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」から「教授6、准教授2、講師3」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」から「教授6、准教授2、講師3」に変更。

- ・担当教員の退職及び採用、時間割調整による担当者変更により、「心理実習」の専任教員等の配置を「教授5、准教授5、講師2、兼任・兼任1」から「教授4、准教授1、講師3、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職及び担当者変更により、「隣地研修(短期)」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職及び担当者変更により、「隣地研修(長期)」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理学専門セミナーA」の専任教員等の配置を「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」から「教授5、准教授2、講師4」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理学専門セミナーB」の専任教員等の配置を「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」から「教授5、准教授2、講師4」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理学特別セミナーA」の専任教員等の配置を「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」から「教授6、准教授2、講師3」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理学特別セミナーB」の専任教員等の配置を「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」から「教授6、准教授2、講師3」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」から「教授6、准教授2、講師3」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
35 科目	134 科目	0 科目	169 科目	33 科目 [Δ2]	134 科目 []	0 科目 []	167 科目 [Δ2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	環境物理学	2	1	一般	選択	カリキュラム改正のため
2	やさしい観光開発（観光開発論）	2	1	一般	選択	カリキュラム改正のため
3	社会学	2	1	一般	選択	カリキュラム改正のため
4	日本語読解演習Ⅰ	1	1	一般	必修	カリキュラム改正のため、科目を新設
5	日本語読解演習Ⅱ	1	1	一般	必修	カリキュラム改正のため、科目を新設
6	インドネシア語基礎Ⅱ	1	1	一般	選択	カリキュラム改正のため
7	スペイン語基礎Ⅱ	1	1	一般	選択	カリキュラム改正のため
8	数と情報	2	1	一般	選択	カリキュラム改正のため
9	雑穀文化を学ぶ	2	2	一般	選択	カリキュラム改正のため
10	東アジアの言語と文化	2	2	一般	選択	カリキュラム改正のため
11	サステイナブル社会を考える	2	3	一般	選択	カリキュラム改正のため
12	食と農から考える地域と世界	2	3	一般	選択	カリキュラム改正のため
13	日本語表現演習Ⅰ	2	2	一般	必修	カリキュラム改正のため、科目を新設
14	日本語表現演習Ⅱ	2	2	一般	必修	カリキュラム改正のため、科目を新設
15	Advanced Reading	1	2	一般	選択	カリキュラム改正のため
16	Communication in the Media	1	2	一般	選択	カリキュラム改正のため
17	Dynamics of English Sound	1	2	一般	選択	カリキュラム改正のため
18	インドネシア語基礎Ⅲ	1	2	一般	選択	カリキュラム改正のため
19	スペイン語基礎Ⅲ	1	2	一般	選択	カリキュラム改正のため
20	応用中国語演習	1	2	一般	選択	カリキュラム改正のため
21	応用韓国語演習	1	2	一般	選択	カリキュラム改正のため
22	応用インドネシア語演習	1	2	一般	選択	カリキュラム改正のため
23	応用フランス語演習	1	2	一般	選択	カリキュラム改正のため
24	応用ドイツ語演習	1	2	一般	選択	カリキュラム改正のため
25	応用スペイン語演習	1	2	一般	選択	カリキュラム改正のため

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和4年4月より、共通科目の過去4年間の科目運用実績を踏まえ、履修者数の平準化および教育課程の充実を図るために科目の追加・削除をおこなった。学生に対しては年度当初のオリエンテーションで科目の変更について周知するとともに、履修についての説明資料等にもカリキュラムが変わったことを周知した。なお新カリキュラムは改正年度の入学者から適用することとしているため学生への影響はほぼないと考えられる。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{25}{169} = \boxed{14.79} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 舎 敷 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	隣地境界再測量のため (3) 校舎敷地と別地 (電車・バス90分)					
	校 舎 敷 地	49,716.30㎡	23,114.33㎡ 23,095.99㎡	14,083.86㎡	86,914.49㎡ 86,896.15㎡						
	運 動 場 用 地	0㎡	13,351.00㎡	13,800.00㎡	27,151.00㎡						
	小 計	49,716.30㎡	36,465.33㎡ 36,446.99㎡	27,883.86㎡	114,047.15㎡						
	そ の 他	1,877.06㎡	0㎡	0㎡	1,877.06㎡						
合 計	51,593.36㎡	36,465.33㎡ 36,446.99㎡	27,883.86㎡	115,942.55㎡ 115,924.21㎡							
(2) 校 舎	専 用					目白大学短期大学部と共 用 1号館登記変更(5) 7号館一部を中highに改修 (4) 中高倉庫を削除(3) 歯科衛生学科の設置等 のための整備、新校舎(8 号館)建設のため(2)					
		24,410.32㎡ 24,372.88㎡ (24,372.88㎡)	39,353.81㎡ 39,513.07㎡ 41,644.36㎡ 42,666.94㎡ (42,666.94㎡)	18,355.82㎡ 18,306.67㎡ 16,880.46㎡ 17,026.71㎡ 16,452.63㎡ (16,452.63㎡)	82,119.95㎡ 82,192.62㎡ 82,897.70㎡ 83,043.95㎡ 83,492.45㎡ (83,492.45㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	92 94 95室	演 習 室	39 43室	実 験 実 習 室	61 57室	情 報 処 理 学 習 施 設	16 15室	語 学 学 習 施 設	1 2室	目白大学短期大学部と共 用 教室の一部変更、改修 (5) 7号館一部を中highに改 修、教室の一部変更、改 修(4) 新校舎(8号館)との接 続のため通路等に改修 (2)
							(補助職員 0人)		(補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		研究室の整備(5) 研究室の整備(4) 研究室の整備(2)					
	心理学部心理カウンセリング学科			18 17 18 17 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点				
	心理学部 心理カウンセリング学科	403,000 [35,600] (404,357 [35,987])	1,450 [430] (1,401 [410])	230 [210] (233 [226])	13,000 (13,028)	0 ()	0 ()				
	計	403,000 [35,600] (404,357 [35,987])	1,450 [430] (1,401 [410])	230 [210] (233 [226])	13,000 (13,028)	0 ()	0 ()				
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体					
	4,393.13㎡	708		300,000							
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要									
	4,636.70㎡	テニスコート		—							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	実績に基づく(2) 誤記修正(2)			
	教員1人当り研究費等 共 同 研 究 費 等	300千円	300千円	図書購入費	2,871千円	2,200千円	2,200千円				
		0千円 1,300千円	1,300千円	設備購入費	27,943千円	5,000千円	5,000千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		1,346千円 1,370千円	1,096千円	1,096千円	1,096千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		経常費補助金、資産運用収入、付随事業収入 等									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	目白大学										平均入学定員超過率15倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率15倍以上の学科数	0	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率(控除後)	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率(控除後)	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
心理学部		年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度			
心理カウンセリング学科	4	125	—	500	学士(心理学)	1.06	—	1.03	—	—	令和2	東京都新宿区落合4丁目31番1号			
人間学部															
心理カウンセリング学科	4	—	—	—	学士(心理学)	—	—	—	—	—	平成12	同上	令和2年学生募集停止		
人間福祉学科	4	100	3年次10	420	学士(人間福祉学)	0.98	—	0.92	—	—	平成16	同上			
子ども学科	4	140	3年次10	580	学士(子ども学)	0.99	—	0.95	—	—	平成19	同上			
児童教育学科	4	50	—	200	学士(児童教育学)	0.86	—	0.87	—	—	平成21	同上			
社会学部															
社会情報学科	4	120	3年次5	490	学士(社会情報学)	1.06	—	1.07	—	—	平成12	同上			
メディア表現学科	4	—	—	—	学士(社会科学)	—	—	—	—	—	平成12	同上	平成30年学生募集停止		
地域社会学科	4	80	3年次5	330	学士(地域社会学)	1.03	—	1.01	—	—	平成18	同上			
メディア学部															
メディア学科	4	140	—	560	学士(メディア学)	1.12	—	1.11	—	—	平成30	同上			
経営学部															
経営学科	4	130	3年次5	530	学士(経営学)	1.06	—	1.03	—	—	平成14	同上			
外国語学部															
英米語学科	4	80	3年次5	330	学士(英米語)	0.9	—	0.86	—	—	平成17	同上			
中国語学科	4	40	—	160	学士(中国語)	1.03	—	1.01	—	—	平成20	同上			
韓国語学科	4	60	—	240	学士(韓国語) 学士(韓国語) 学士(日本語) 学士(日本語教育)	1.11	—	1.11	—	—	平成20	同上			
日本語・日本語教育学科	4	40	—	160	学士(日本語) 学士(日本語教育)	1.05	—	1.05	—	—	平成20	同上			
保健医療学部															
理学療法学科	4	85	—	340	学士(理学療法)	0.87	—	0.86	—	—	平成17	埼玉県さいたま市岩槻区浮谷320番地			
作業療法学科	4	60	—	240	学士(作業療法)	0.57	—	0.51	—	—	平成17	同上			
言語聴覚学科	4	40	—	160	学士(言語聴覚)	0.78	—	0.76	—	—	平成18	同上			
看護学部															
看護学科	4	105	—	420	学士(看護学)	1.05	—	1.03	—	—	平成18	同上			
大学全体	—	1395	3年次40	5660	—	—	—	—	—	—	—	—			

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください)。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ことには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。□
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.5倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和5年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<心理学部 心理カウンセリング学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

「目白大学新宿キャンパス各種委員会規程」並びに「目白大学さいたま岩槻キャンパス各種委員会規程」に基づき、新宿キャンパス（心理学部、人間学部、社会学部、メディア学部、経営学部及び外国語学部）並びにさいたま岩槻キャンパス（保健医療学部及び看護学部）毎に副学長（総務担当）を委員長とする「FD実施委員会」を設置している。【添付資料①】

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和4年度はキャンパス合同で6月にFD実施委員会を実施し、メールで全ての構成員に審議事項を配信して承認を得た。
令和5年度も同様の内容を予定している。

c 委員会の審議事項等

- ・ 2022年度FD実施委員会構成員
 - ・ 目白大学・目白大学短期大学部FD活動の目標について
 - ・ 2022年度全学FD研修会実施計画(案)について
 - ・ 2021年度「FD活動実施報告書」
 - ・ 2022年度「FD活動実施計画書」の提出について
- 令和5年度も同様の内容を予定している。

② 実施状況

a 実施内容

- ・全学FD研修会（計2回）
「コンプライアンス教育・研究倫理教育」、「研究成果報告」、「授業と評価に関する研修」（第1回）
「中退リスクの高い学生の早期発見と初年次教育」、「中退予防」（第2回）
- ・学科でのFD活動計画書に基づいた研修の実施

b 実施方法

全学教員を対象とした「全学FD研修会」を年2回実施するとともに、学科単位でのFD研修会を年1回以上開催し、実施報告書を教務部研究支援課に提出することとしている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・令和4年度第1回全学FD研修会（令和4年9月開催（オンデマンド受講）・教員302名受講）
- ・令和4年度第2回全学FD研修会（令和5年2月開催（対面及びオンデマンド受講）・教員292名受講）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各FD研修会で取り上げた内容、授業参観のフィードバック、及び下記授業評価アンケート結果に基づき、各教員は授業の改善や教育技術の向上に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

「学生による授業評価」実施要領に基づき、原則学期ごとに開講されているすべての科目について実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計結果は、教務部教務課より各教員及び当該学科長(学科長にあっては学部長、学部長にあっては学長)にフィードバックされる。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙の通り

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

「令和4年度 自己点検・評価報告書」を令和5年7月末に公表予定

b 公表方法

大学ホームページ上に公開予定（令和5年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和5年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受ける。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

目白大学心理学部は、現代社会における心理的諸問題に対応するべく、公認心理師を養成し、地域や社会へ積極的に貢献できる人材を輩出するために「心理とカウンセリングの理論と実践の統合」の理念を生かし、教育と研究を行う目的で2020年4月に設置された。学部の目的を達成するために、2023年4月末日までに以下の取り組みを行った。

1. 入学者の確保

本学部の「幅広い心理学領域を体系的に学べる」、「実践力を養うために実習・演習科目群を多数開設している」、「国家資格である公認心理師対応カリキュラムである」という特性や教学内容、及びアドミッションポリシー、履修モデル等について、心理学部紹介ホームページ、心理学部紹介入学案内パンフレット、オープンキャンパス等を通して説明を行ってきた。その結果、2022年の入試状況は入学定員125名に対して1108名の志願者を集めることができ、2022年度の入学者数は128名となった。次年度も引き続き広報活動を充実させ、志願者と入学者の確保を行っていく。

2. 初年次教育

心理学部における1年次配当科目は、「専門教育科目」と「共通科目」に分かれる。特に「専門教育科目」については、本学部が目指す人材養成の基本理念、学問体系を学生の入学当初に十分に教授する必要があることを踏まえ、心理学導入科目6科目、心理学基礎科目3科目、心理学発展科目：基本科目5科目、心理学演習実習科目2科目を設置している。以下、2022年度について記載する。

1) 心理学導入科目

心理学を学んでいく際のイントロダクションとなる心理学導入科目6科目は対面授業を実施し、目的や内容は昨年度と同様であった。

2) 心理学基礎科目

心理学基礎科目では、心理学の科学的な考え方を修得することを目的とした3科目を配置しており、昨年度と同様の目的や内容で、対面授業を実施した。

3) 心理学発展科目：基本科目5科目

心理学発展科目のうち基本科目では、幅広い心理学領域の基礎となりうる5科目を配置しており、昨年度と同様の目的や内容で、対面授業を実施した。

4) 心理学演習実習科目

心理学に関する基礎的概念やその応用方法を学びながら、より実践的な課題解決力を身につけることを目的として、心理学演習実習科目では「心理学入門演習」と「心理学体験実習A(ボランティア)」を配置しており、昨年度と同様の目的や内容で、対面授業を実施した。

5) 共通科目

1 年次春学期の共通科目「ベーシックセミナーⅠ」では、新入生が大学生活を有意義に過ごすために共通に身につけるべき基本的な態度・資質・能力等を育むことを目指しており、昨年度と同様の目的や内容で、対面授業を実施した。また、クラス担任との面談を通じて、個別の生活指導、履修指導を行った。

1 年次秋学期の共通科目「ベーシックセミナーⅡ」では、学科の専門教育を受けるために必要な基礎的な知識や能力を身につけることを目指しており、昨年度と同様の目的や内容で、対面授業を実施した。

3.2 年次教育

心理学部における 2 年次配当科目は、「専門教育科目」と「共通科目」に分かれる。「専門教育科目」では 2 年次において心理学体系に基づいた基本的知識や視点、方法論や考え方を修得することを目的とし、心理学基礎科目 2 科目、心理学発展科目：基本科目 2 科目、実践科目 5 科目、関連科目 1 科目、心理学専修科目 10 科目、心理学演習実習科目 2 科目、さらに心理学演習実習科目から発展した科目である臨地研修 2 科目を設置している。以下、2022 年度について記載する。

1) 心理学基礎科目

心理学基礎科目では、心理学の科学的な考え方を修得することを目的とした 2 科目を配置しており、昨年度と同様の目的や内容で、対面授業を実施した。

2) 心理学発展科目：基本科目 2 科目、実践科目 5 科目、関連科目 1 科目

心理学発展科目では、幅広い心理学領域の基礎となりうる 8 科目を配置しており、昨年度と同様の目的や内容で、対面授業を実施した。

3) 心理学専修科目

心理学専修科目では、現代社会の問題を反映した子ども・家族、対人関係、多様性、福祉、教育、医療・健康、司法・犯罪、産業の 8 つのフィールドから構成された 10 科目を配置しており、昨年度と同様の目的や内容で、対面授業を実施した。

4) 心理学演習実習科目

心理学演習実習科目では、心理学に関する基礎的概念やその応用方法を学びながら、より実践的な課題解決力を身につけることを目的として「心理学基礎演習」と「心理学体験実習 B（異文化体験）」を配置しており、昨年度と同様の目的や内容で、対面授業を実施した。

5) 臨地研修

臨地研修は、履修者がいなかったため開講されなかった。

6) 共通科目

2 年次春学期の共通科目「専門とキャリア A」は、社会の中での自己の役割を理解した上で、社会的責任を果たす人材となるための基礎をつくる科目群に位置している。受講生が将来の自分の進路について真剣に考え、進路選択に向けた基本的態度や知識を身につけることを目指し、昨年度と同様の目的や内容で対面授業を実施した。また、クラス担任との面談

を通じて、個別の生活指導、履修指導を行った。

2年次秋学期の共通科目「専門とキャリア B」は、受講生が自己の将来に向けた準備を具体的にやる態度や知識を身につけ、就職活動等に対する積極性や意欲をもつことを目指し、昨年度と同様の目的や内容で対面授業を実施した。

4.3 年次教育

心理学部3年次の配当科目は「専門教育科目」であり、心理学体系に基づいた基本的知識や視点、方法論や考え方を修得することを目的とし、心理学発展科目：関連科目3科目、心理学専修科目10科目、心理学演習実習科目2科目、心理学的支援実習2科目、さらにセミナーを設置している。

1) 心理学発展科目：関連科目3科目

心理学発展科目の関連科目として、社会で心理学を生かす際に必要な医学的知識や心理学と関係する法律や制度の知識を理解し、心理専門職の職責等を考える3科目を配置した。

2022年度はすべて対面授業で、以下のように実施した。

「人体の構造と機能及び疾病」では、心身機能と身体構造、及び主な疾病や障害について基本的な説明をし、特にがんや難病等の心理的支援が必要な疾病について講義を行った。「公認心理師の職責」では、公認心理師が業務に当たる上で遵守すべき公認心理師法や倫理について講義を行い、守秘義務等がテーマとなる様々な事例を示しながら主体的に考える授業を行った。「関係行政論」では、保健医療・福祉・教育・産業労働・司法犯罪という、公認心理師がかかわる5つの領域における主要な法律や制度について、その内容、及びそれらが心理師の業務にどう関わるかについて、丁寧に説明を行った。

2) 心理学専修科目

心理学専修科目は2年次から履修が可能となる選択必修科目であり、学生一人ひとりが自身の進路や関心に沿って科目を履修することが可能となっている。3年次においては10科目を配置し、これらは現代社会の問題を反映した子ども・家族、対人関係、多様性、福祉、教育、医療・健康、司法・犯罪、産業の8つのフィールドから構成されている。2022年度はすべて対面授業で、以下のように実施した。

「家族心理学特講 B (芸術療法)」では、絵画療法や芸術療法の基本的な関与方法や基本概念を演習によって学んだ。主として絵画療法を中心に、スキッグル法や風景構成法、誘発線法、卵画・洞窟画技法等の主な絵画療法の技法を、二人のパートナーを組ませクライエント役と治療者役に分かれて、演習方式で実践的に学んだ。演習が8割で、座学が2割であった。座学では、絵画から読み取れる事例の病理や発達の読み方等をスライドやビデオ教材を用いて学んだ。「対人関係心理学特講 B (ストレスと行動変容)」では、キャノンやセリエ等が提唱した理論を取り上げ、ストレスが生活に与える影響について講義した。同時に、よりよく健康的な生活を営むための行動改善の手法について、行動科学的な立場から説明した。

「多様性心理学特講 B (異文化・多様性カウンセリング)」では、多様な文化的背景を持つ

人々の価値観、悩みや課題、危機と解決の可能性について検討した。コミュニティ心理学の観点から予防的支援活動、コンサルテーション、支援体制作り等についても理解するよう促した。「福祉心理学特講 B (児童養護)」では、児童養護を対象とし、被虐待児の心理や虐待による影響、被虐待児やその家族への支援方法についてより専門的な内容を講義した。「学校心理学特講 A (ピア・サポート A)」では、教育現場におけるメンタルサポートボランティアについての基礎的な知識の講義、必要なコミュニケーションスキルの習得を目指したグループワークを実施した。「学校心理学特講 B (ピア・サポート B)」では、教育現場でのメンタルサポートボランティア活動について、事例検討を実施し、活動の振り返りを行った。「医療健康心理学特講 C (スポーツ心理学)」では、スポーツ選手のこころの問題を総合的に理解するために、トップアスリート及び一般スポーツ経験者の映像資料や事例を題材として、それを心理学的に検討する講義を行った。「医療健康心理学特講 D (身体疾患と心理)」では、からだの病気とこころの関係、からだの病気をもつ患者・家族へのこころのケアについて講義するとともに、チーム医療における心理職の役割について、実践的な内容を紹介しながら授業を展開した。「司法犯罪心理学 C (課外と被害の臨床心理学)」では、犯罪の被害を受けた人に対する心理臨床技法、及び犯罪の加害をした人の更生に関する福祉や心理の視点について説明を行った。特に被害も加害も、背景にトラウマの影響があることを取り上げ、トラウマインフォームドの視点について重点的に講義をした。「産業心理学特講 B (産業カウンセリング)」では、職業生活を送る上で役立つ知識を身につけることを目的として、組織における人の行動と、職場における問題に対して必要な心理的支援に関する講義を行った。

3) 心理学演習実習科目

心理学を社会に活かすことができるよう、実地で学ぶことを目的とした心理学演習実習科目 2 科目は、以下のように授業を実施した。

「心理学体験実習 C (メンタルサポートボランティア)」では、教育現場における 1 年間のボランティア活動を実施した。その活動に伴い、ボランティアについての基礎的な態度と活動報告書の作成を指導し、教育委員会指導主事を交えた報告会を 3 回行った。また 2022 年度は、14 回の対面授業と 1 回の遠隔 (同時双方向型) 授業で実施された。

「心理学調査法」では、心理学の調査において必要な基礎知識 (統計学や研究倫理等) について講義を行うとともに、小グループに分かれて実際に調査を実践 (質問紙の調査・サンプルの取得・統計ソフトによる統計解析・研究発表や報告書の作成等) することで心理学調査に必要な知識や技術を学習した。2022 年度はすべて対面授業であった。

4) 心理学的支援実習

心理学的支援実習は、公認心理師を目指す学生にとって必修科目である。2022 年度は、初年次から学んだ心理学基礎科目や心理学発展科目を踏まえ、公認心理師を目指す上で身につけるべき実践的な内容の 2 科目を配置し、すべての授業を対面で以下のように実施した。

「心理的アセスメント」では、心理的アセスメントの目的及び倫理を講義するとともに、

具体的な観点や実施方法、報告方法を紹介した。「心理学的支援法」では、様々な心理学理論やそれに基づく支援の実践方法を系統的に概説するとともに、それぞれの利点と限界について講義した。

5) セミナー

3年次から学生はゼミに配属され、1、2年次のクラス担任から3、4年次のゼミ担任が配置された。学生は所属したゼミにおいて「心理学専門セミナーA」「心理学専門セミナーB」を履修し、各ゼミ教員の専門性に基づき、学生が自ら問題を設定し、考え、解決する力を養うために文献講読やアクティブラーニング等を取り入れた課題解決型の授業が実施された。また、ゼミにおいて学生の生活指導、進路指導も実施された。

5. 2023年度新入生オリエンテーション、及び在学生に対する履修指導

総合型選抜入試・学校推薦型入試の合格者に対しては、2023年2月にフォローアップセミナーを開催した。当日は目白大学に集まり、入学予定者の親交を深めるアイスブレイクの実施後、事前に通読することを求めている心理学に関する書籍についてのレポート発表を行った。このような機会を設けることで、入学前の段階から学生同士の交流を図らせ、学びのイメージを具体化させた。また同時に、入学前教育として国語のテストや小論文の作成を含んだ国語の通信教育を全10講にわたり実施した。

2023年4月の授業開始前に、学部生全員を参加必須とする教務等に関するオリエンテーションを実施した。新入生に向けたオリエンテーションでは、学部教育の基本的理念、人材育成目的、学部教育の特色等を説明した。また、学生便覧、シラバス、時間割等の資料を示し、卒業要件に必要な科目、履修方法、取得可能な資格等について具体的な説明と質疑応答を行った。さらに、学部長(学科長)、1年生担任(5名)から新入生に向けた挨拶も行った。オリエンテーション後には「心理カウンセリング学科：謎解きオリエンテーリング」という学科プログラムを実施し、大学構内を理解してもらうとともに学生同士が交流する時間をもたせた。他方、2年生と3年生は学年別に対面で、4年生は遠隔(オンデマンド型)でオリエンテーションを実施した。2~4年生に向けたオリエンテーションでは、改めて学部教育の基本的理念や、履修科目を選択する際の注意点、資格取得に向けた計画的な履修の方法等について確認した上で、心理学発展科目における基本科目、実践科目、関連科目の関係性や役割、特色等について説明した。また、2年次以降から履修可能となる「心理学専修科目」についても「心理学導入科目」との関連や科目の構成について説明を行った。今後も授業内で専門分野選択のための説明を行い、周知徹底を図っていく。さらに、卒業年次生に対しては、履修登録等にミスが生じないように注意を促した。来年度も今年度同様、学年別にオリエンテーションを実施し、学生が大学生活を円滑に過ごし、つつがなく科目履修が行えるように指導を行っていく予定である。

6. 施設の整備状況、及び実習先の確保状況

臨床心理学実習支援室の整備・運営は当初の計画通りに行われ、実習施設からの情報を集約し、問題が生じた場合に的確に把握し、迅速に対応できる体制を整えている。また、公認心理師のための実習先は、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働すべての領域で確保し、2021年度から旧学部心理カウンセリング学科4年次生に対して見学実習を行っている。新学部生に対しては、2023年度より見学実習を実施する予定である。

以上のことから、設置の趣旨・目的に関して2023年5月1日時点では、当初の計画を概ね達成することができていると言える。